

# 「人工芝」敷設等決まる

## 100周年記念事業の一環



会長あいさつ

新しい年を迎え皆様にはお健やかに過ごさしめのこととお慶び申し上げます。  
日ごろから同窓会活動にご協力いただき感謝申し上げます。  
2027年には母校の創立

### 4億5千5百万円募金へ

原田 ゆみ子(高20)

100周年を迎えます。昨年6月定期総会に先立ち、創立100周年記念事業実行委員会が開催され、母校のさらなる発展と生徒たちの将来への夢を応援するため、100周年記念事業が決定しました。校舎の全面建て替え工事が完了するのにあわせ、グラウンドへの人工芝設置などの環境整備事業や奨学財団事業の充実を記念事業とし、募金目標額を4億5500万円と定め、今後募金活動を進めていきます。

### 南棟校舎が完成、使用開始

2022年春から建設されていた南棟が完成、24年1月の3学期から使用されます。

新校舎は正門から入った正面に建ち、地上4階建て。1階に保健室、調理被覆室などが入り、2-4階は教室となります。

同年2月には次の北棟新築工事に備えた東側スロープ工事が始まります。



第74号  
発行 筑紫丘高校同窓会  
福岡市南区野間2-13-1 〒815-0041  
電話092(561)0662  
FAX092(561)0663  
ホームページ <http://www.chikushigaoka-dousokai.com/>  
印刷 西日本新聞プロダクツ



同窓会HP  
「QRコード」

### 筑紫丘高校 同窓会 公式LINE アカウント

このたび、同窓会の活動をより多くの世代に届けるために広報委員会の尽力により、筑紫丘高校同窓会公式LINEアカウントが開設されました。不定期配信ではありませんが、同窓会からのお知らせを皆さまの手に届けていきます。ぜひQRコードから登録をお願いいたします。



<https://lin.ee/hf3saAe>

### 人工芝3億円 奨学財団5千万円 募金推進委員会を設置

2027年に創立100周年を迎える母校筑紫丘ですが、記念事業として、グラウンドへの「人工芝敷設」が決まり、ほか「奨学財団への寄付」「ふるさと納税」と合わせた総事業費は、4億5500万円に上ることが明らかになりました。事業費は皆様からの募金等で賄います。

記念事業の内容は、昨年10月25日に開いた100周年事業に向けた臨時常任幹事会で決定しました。同幹事会では、人工芝等設置特別委員会からの答申で、人工芝敷設に必要な額は3億円との数字が示されました。

昨年6月には本部定期総会開催に先立ち、100周年記念事業実行委員会を開催。森田一義・実行委員長は、挨拶で「寄付道」に邁進しよう、との檄を飛ばされ、原田同窓会長は、実行委員各位に対して記念事業への理解を求められました。

同委員会では、母校からの要望事項も踏まえて、人工芝敷設をはじめ、学習環境の整備や部活動への支援策などが盛り込まれた記念事業の概要を固め、昨年10月の臨時常任幹事会開催につながりました。昨年12月には募金推進委員会も設置されました。

同幹事会での議論により、記念事業は①人工芝敷設(3億円) ②奨学財団(5千万円) ③ふるさと納税(1億5百万円)を内容とする計画案が決議されました。

これまで同窓会本部は、100周年に向けて組織改革などの準備を進めてきました。

まだまだ課題は積み残っておりますが、まずは目標額に向けて、現役生そして未来の筑紫丘高校のために、一丸となって取り組んでいければと考えています。

皆様の絶大なご協力をよろしくお願い申し上げます。  
副会長 前川健太(高49)

「I LOVE 筑高。丘の仲間と、つながる。」  
「つなげる。」

24年度総会実行委員長  
武藤百合子(高47)



今年の総会のテーマは「I LOVE 筑高。丘の仲間とつながる。つなげる。」です。筑高を卒業して30年近く経っていますが、みんなに会えばあの頃と同じように語り、交流できる。この心地よさを支えるものは、やはり筑高を愛する気持ちではないかと思えました。

この縁は同じ学年にとどまらず、卒業したばかりの若い方たちから諸先輩方まで、みんなで紡いでいきたい。つながる、だけでなく、つなげていくという能動的な姿勢を持ってたらいいなという想いから、このようなテーマにしました。  
今年も、たくさんのご参加をお待ちしております。どうぞよろしく申し上げます。

新年あいさつ

校舎改築進み、部活も活躍



渡邊 啓明校長

明けましておめでとうござい... 目より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。令和2年から「ローリング方式」で始まった校舎改築工事も本年度で4年目を迎え、本館に続き、ようやく南棟保健室・調理被服室・和作法室・教室21が昨年12月に完成し、令和6年1月から使用を開始します。

競技部、ギターアンサンブル部が九州大会出場を果たしました。更に水泳部が9月の鹿児島国体で、少年B男子100m平泳ぎ優勝・少年B男子400mメドレーリレー3位・少年A女子400mリレー4位。さらに全九州高校新人水泳競技大会で、男子100m平泳ぎ優勝・200m平泳ぎ2位の成績を収めました。

8月には、第2学年200名が2泊3日の東京研修を行いました。大学や企業で活躍する先輩方から将来に向けた貴重なヒントを頂きました。

9月には、台風や熱中症も心配しましたが、幸いにも晴天の中で大運動会を実施することができました。

また、部活動については、水泳部、写真部、囲碁将棋部、百人一首部、物理部が全国大会出場を、山岳部、陸上

今年も生徒や保護者、同窓会、地域の皆さまの協力をいただきながら、来たるべき100周年、筑高の更なる発展に向けて、尽力させていただきます。今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

東京研修

大学・企業を訪問 2泊3日で実施

今年度の東京研修は、コロナ禍前の内容に戻し、2年生の希望者約200名が参加して8月2日〜4日に実施しました。初日は首都圏の大学研修、2日目は企業訪問、3日目は東京大学研修と、充実した2泊3日でした。現役大学生の同窓生が構内案内や座談会で協力してくださり、いくつかの企業や大学



社会人講座

松熊検事(高38)が来校 1年生対象に「検察官の仕事」

1年生を対象にした社会人講座が昨年7月25日開かれました。私は検察官(検事)に任官し、現在は福岡地方検察庁公判部長を務めています。検察官の仕事は大きく分けて捜査と公判(裁判)の二つがあり、私はそのうち公判の責任者の立場にあります。

今年、法律家の志望者を増やそうという検察庁の方針の下、母校にうかがい、1年生を対象にした課外授業において「検察官の仕事」というテーマで1時間ほど講演等を行いました。夏休み中の課外授業ということで、参加者は少数にとどまりましたが、質疑応答ではこちらとしても非常に興味深

「社会人の方々には人生の授業をしてもらったと思います。社会人になってからが人生で最も長い時期であり、どのような職業につくのか、社会に出て働くとはどういうことなのか、普段は聞けない貴重な話が聞けました」とありました。受験や進学についてはもちろん、人としてどう成長



い質問がたくさん出され、その熱心な姿勢を大変頼もしく感じました。生徒の進路の検討対象の一つとなれば幸いです。機会をいただいた皆様、この場を借りてお礼申し上げます。(松熊 健)

していくべきか考える機会を得られたようです。首都圏同窓会のご協力に心から感謝しております。(坂口奈身子教諭 高44)



翔丘祭

「新駆」の思い込めて

翔丘祭運営委員長

3年 山方迦奈

今年のテーマ「新駆」には、「新しい青春を「駆」け抜けていこう、という私達の思いを込めました。昨年度、先輩方が「想造」した翔丘祭をもとに、従来の形に戻しつつ、「新しい」筑紫丘、「新しい」翔丘祭を創り上げようと3月から準備を進めました。

変更になる可能性もあり、様々な選択肢を考えながら計画していくことは難しく、思うようにならないこともありました。75回生やコロナ禍前の72回生の先輩方とも連絡を取らせていただき、大きな支えとなりました。当日は想像を超える多くの方々に来場していただきました。翔丘祭がさらに発展することを願っています。

通常開催に歓声沸く

翔丘祭

大運動会

第76回の筑高翔丘祭と大運動会は、いずれも久しぶりの通常開催となりました。

翔丘祭は5月12、13日に開催。今年度は入場制限をなくし一日目は1年生の合唱、2年生の筑高theムービー(映画)、3年生の筑高MV(ミュージックビデオ)を講堂で披露。2日目は校内を一般開放、各クラスの企画や文化部の発表を行い、大盛況でした。

大運動会は9月9日に実施。今年度は筑高体操での着衣が選択制となり、生徒たちは上裸か着衣のどちらかを自分で選択して体操に臨んでいました。当日は天候にも恵まれ、グラウンドに大きな歓声が沸く心に残る大運動会となりました。(青木雄志教諭 高66)

これからも「燦然伝心」

大運動会運営委員長

2年 窪田凌駕

1年生から3年生まで、本来の形を誰も知らないまま準備がスタートして、「今できることは何か」「どうすれば例年の形に戻せるのか」など、生徒一人一人が主体的に考え行動しました。

だからこそ、テーマである「燦然伝心」の名の通り、リーダーズ、運営、そして競技の選手として、練習から本番まで、それぞれの光輝く姿や個性を存分に発揮し、熱気あふれる行事になりました。

大運動会を実施することができたのは、これまで制約がかかった状況でも必ず伝統を繋いできた筑高生の想いがあったからです。その想いを受け継ぎ、私達の誇りである筑高の伝統はこれからも繋いでいきます。



大運動会

奨学財団

「寄付道」を合言葉に「御礼」と「報告」

奨学財団専務理事 世良 洋子(高45)

当奨学財団への寄付は、令和5年度も3年生への奨学金は前年同規模の300万円を予定しています。寄付者の税法上メリット増大のため、特別控除(税額控除)の対象法人化の申請も行っています。

財団の使命は、現役筑高生が抱く向学の志を全力で応援することに他なりません。「寄付道」を合言葉に、平等な学びのチャンスを全ての筑高生へ届けて参る所存です。引き続き温かいご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

2023年の定期総会・懇親会

総会・懇親会に735人出席

2022年から会場を福岡国際会議場に移して2回目となる23年の定期総会・懇親会は6月3日に開かれた。参加者は735人(オンラインは74人)だった。

QRコードによる受付入場、着席スタイルも大きな混乱はなく、新しいカタチとして定着してきた。

23年度のテーマは「チッコロセイ」。卒業していつしか青春の記憶のあなたに消えつつあるこの6文字に、総会の当番回である高46回生が光を当て、さまざまな映像コンテンツで来場者を楽しませた。

変化が必要だった

23年度総会実行委員長 日野昌暢(高46)



「同窓会って、この時代に...」実行委員長を依頼された時、私は同級生に同窓会が抱える課題を聞いた。それによると、現役生が納入する「同窓会費」を原資とする補助があつて運営がなっている構造。そして若い人の

続き温かいご支援を宜しくお願ひ申し上げます。



CHIKUSHIGAOKA HIGH SCHOOL alumni association

This new phrase created and handwritten by our great mentor, KAZUYOSHI MORITA

ザ・部活

吹奏楽部

県大会銀賞獲得

吹奏楽部は今年度、第39回全日本吹奏楽コンクール福岡県大会に出場しました。県大



会の壁は厚く、金賞は受賞するものの、県大会への推薦はいただけぬ「カラ金」(ダメ金)が続いて県大会は実に10年ぶりの出場です。3年生は昨夏から「全身全霊 届く音楽 アモレレ!」を合言葉に、九州大会出場を目標に活動してきました。思うような成果が上がらず、不安に駆られることもありましたが、支部大会は部員一人一人のパワーと団結力が遺憾なく発揮された会心の演奏で、ここぞという時に持てる力を発揮できる「筑高生の真の力」を実感しました。

県大会は悔しい銀賞に終わりましたが、たくさんの方から祝福と激励の言葉をいただき、部員一同心から感謝しています。

新チームは「一意専心」をモットーにさらなる高みを目指して活動中です。今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(大石純子教諭 高35)

ギターアンサンブル部

各人がバンド組みライブ

ギターアンサンブル部は、学校一の部員数を誇り、それぞれが少人数でバンドを組



曲を練習したり、定期演奏会等に向けて様々な曲のカバーを練習したりします。部員が多い分、音楽への沢山の接し方があります。バンドによっては、校外でのライブに積極的に参加し、他校のバンドやアーティストの方々の交流も行います。共通の音楽の趣味を持つ人との出会いも魅力で、大勢の観客の前で演奏することへの挑戦は、とても良い経験になります。これからも沢山の仲間と共に、素晴らしいライブを行えるように頑張ります。(2年 深町彩乃)



筑紫丘高校奨学財団理事長 高16回 森田一義様

参加が著しく少ないことなどという。変化が必要だった。幹事団で話し合った。結論は、お金と、つながり、楽しさだった。お金を集めて生かせる同窓会に。若い世代も来たくなる、広い世代のつながりを生める同窓会に。

具体的には物販を頑張つて、収益を寄付に回す。運営構造を見直して収支を良くする。そしてコンテンツをとにかく楽しくすること。卒業すると、地域での愛称「ガオカ」の方が通じるのでそう言うようになるが、卒業生同士の時くらいは「チッコロセイ!」って言うおうぜ、とテーマに据えた。

森田一義先輩に話した。その結果、懇親会冒頭のサプライズ登壇、同窓生で編成したジャズバンドとのスクワットでのセッション、オープニングトークなど、過去にない協力をいただき感動した。実行

委員長をやらせてもらったおかげで「新しい良い人間関係」が生まれた。47回生以降の同窓生も、だまされたと思つて、仕事や家庭など、いつものコミュニティから一歩出て、チッコロセイに戻つてほしい。

教育支援基金寄付者

「教育支援基金」(令和4年9月(令和5年3月)に尾崎隆教さん(高17)から寄付がありました。令和4年度寄付の合計は7万4000円でした。ありがとうございます。現在の寄付は「奨学財団」にて承っておりますので、引き続きご支援よろしくお願ひします。

同窓会費2000円 GAOカードでの登録を

同窓会費の負担をお願いして一年が経ちます。GAOカードまたは振込みによる支払い、誠にありがとうございます。とはいえまだまだ目標には程遠いため、今一度ご説明させていただきます。

負担をお願いする主な理由は以下の3つです。

- (1) 現在の同窓会運営費は、ほぼ全額在校生の負担により賅われている
(2) 将来的に同窓会運営が困難になることが予見される
(3) 2027年に創立100周年を迎えるものの、資金的な余裕がない一です。

皆様のご理解をお願いします。

加えて、同窓会年会費の支払いの際は、「GAO(ガオ)カード」での年会費の支払い登録をお勧めします。「GAOカード」とは同窓会専用のクレジットカードです。

大きな特徴は以下の4つです。①発行されるカードは、デジタルカード(スマホ上のアプリ)とその対となるフィジカルカード(いわゆる普通のカード)の2つ②カード自体の年会費は永年無料③申し込みから発行までスマホで完結④カード発行後に同窓会年会費の支払登録をすることで同窓会年会費のスムーズな集金が可能になる。

GAOカードの登録後、すぐに2000円の引落が実行されますが、初年度については約4カ月後に登録者に2000円がキャッシュバックされます。加えて同窓会に3000円の協賛金が入ります。

訂正

73号5ページの「卒業式・入学式」記事の11行目「76回生」は「75回生」の誤りでした。



「丘女会」だより

### 「学びの会」を協力開催 研鑽委員会と

会長 内田 洋子 (高24)

丘女会はこれまで同窓会に所属する独立した組織として活動してきましたが、今後は同窓会本部の委員会の下部組織として、各委員会と協力して活動していくこととなりました。

創立100周年に向け、同窓会本部の新たな体制の下に2023年から丘女会も研鑽委員会企画のイベント「学びの会」を協力して開催しています。

第1回目は23年4月、高原要次さん(高23)に「論語・大学に学ぶ人間学」と題して講演していただきました。

第2回は同年10月に開いた太田由美子さん(高32)による「100年時代の人生をよりよく生きるために-LIFE SHIFT に学ぶ」。ワーク形式で分かりやすく、自分自身を見つめ直す良い機会となった、と参加された10代から70代の幅広い年代の皆さんに大変好評でした。

第3回は「個人の安全・安心、企業の安全・安心、国家の安全・安心」のテーマで24年2月17日(土)に開催します。講師はこの分野のエキスパートの渡邊達哉さん(定高18)です。申し込みは同窓会事務局(092・561・0662)か同窓会ホームページへ。

広報誌「OKAME STYLE」は様々な分野で自分らしさを発揮する丘女をご紹介してきましたが、今後は女性に限らず全ての卒業生を対象に取材し、同窓会本部の委員会と連携しながら多くの方々に楽しんでいただけるよう情報をお届けします。



### 支部だより

### 北九州、ゴルフコンペ

### 田中氏(高17)優勝



北九州支部恒例の秋のゴルフコンペが、2023年10月17日、門司ゴルフ倶楽部で行われました。東京と福岡からの参加もあり総勢9人。高8の井上正先輩(尊敬します！レジェンド♡)の素晴らしいアプローチなど、笑顔と声援の絶えない楽しい会となりました。優勝は高17の田中義彦氏でした。次回は5月に予

定。腕に自信のある方、このコースに興味がある方、バンスカーの往復ビンタに泣いてみたい方などなど、ご参加お待ちしております♡  
(三島恵美子 高38)

### 首都圏代表交代

### 山本利博(高38)



2023年6月の常任幹事会で、渡邊伸也氏(高24)の後を受け、首都圏同窓会の代表に就任しました高38の山本利博です。母校100周年が3年後に迫ってまいりました。いろいろな形で同窓会を



盛り上げていけたらと思っています。同窓会活動の活性化とともに、イベントの準備などについても効率的な運営を推進していきたいと思えます。母校愛に知恵と議論を積み重ねて発展していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

### 丘で学んだ Chikushiqaoka Stories

私は西高宮小・高宮中・筑紫丘高のOBです。昨年70歳になりました。車いすテニスの全仏・全英で優勝を果たした小田凱人選手は17歳。70と17。似て非なる、です。小田選手は現在高校2年の年齢ですが、病氣と闘いながら常に最年少記録を更新する実績を残して、しかもインタビュアーでの受け答えが素晴らしい(英語も)。素質、覚悟、努力などが合わさって立派です。大リーグの大谷翔平選手も高校1年の時に「ドラフトで

### ⑦ 年齢70 人生これから

蓮尾 隆一(高23)

1位指名を8球団から受ける」という志を立て、そのために達成すべき目標を8つ書き出し、さらにその8つの目標達成のためにやるべきこと8つずつを書き出して、64項目の曼陀羅チャート(目標達成シート)を作ったというのは良く知られている話です。2人とも高い志と大変な努力で成果を上げています。翻って私が高校2年の頃を振り返ると、毎日を気楽に過ごして、毎日を楽しんで過ごして、天体観測合宿と称して学校に時々泊まり込んで



だと思っています。これが筑紫丘の魅力、筑紫丘のすごいところだと思えます。SNSという便利なツールができたこともあり、私たちの学年はメーリングリストを随分前に作ってくれた人がいたこと、学年同窓会に歴代名幹事がいること、東

京には博識で面倒見のいい世話人が定期的に散歩の会を開催してくれていることから、高校時代に付き合ひのなかつた人たちの交流も生まれています。首都圏同窓会で、森田一義先輩(タモリさん)が「筑紫丘は、卒業して時間がたつた後で初めて良さが分かる」と言われていると思いますが、まさにその通りだと思います。私は大学の専攻(地球物理学)とは全く関係のない商社に勤務しましたが、退職後の3年間は東京・三鷹の国立天文台で国際連携関連の仕事もさせてもらいました。ハワイのすばる

望遠鏡、チリのALMA(アールマ電波望遠鏡)にも行けて地学部賞に尽きます。この間に2度、筑高2年生の夏の東京研修のグループを受け入れて国立天文台を案内しました。少しは母校に恩返しできたかもしれません。最後はリモート飲み会の話です。首都圏同窓会で楽しんでいた散歩の会がコロナ禍で休止になったため、高23の仲間「丘ふみ」といいます。の有志が憂さ晴らしに隔週開催で企画したものです。Zoomで企画しないで、酒を飲みながら近況を語り合うのですが、これがなかなか面白かったです。世間話だけでなく、時には

メンバーの中の○○専門家に講演をしてもらいました。テーマは日本の安全保障から素粒子観測施設ハイパーカミオカンデ建設の話、さらに新型コロナの解説に株式会社400年の歴史、石の話まで。これがとてもレベルが高くて目からうろこの話が続々。さすが筑紫丘、多士済々と思っただけです。私も1998年の第4回選抜で2次まで残った時の宇宙飛行士受験体験記を話しました。自分が学べなかったことでも仲間から拝借できることに気づきました。これが一番の「丘で学んだ」ことかもしれません。状況の変化が急激な時代にあって「世界に貢献できる人材の育成」を目指し、学校一丸となって精進してまいります。ご支援をお願いします。(副校長 富田順一 高35)

### 宴座

同窓会の皆様 明けましておめでとうございます。日頃から温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2023年度4月より久しぶりに「丘」に通っている私は、現役の生徒に高校時代の自分をつい重ねてしまっています。昔学んだ同じ教室でタブレットや電子黒板を駆使した授業が展開されていることに隔世の感を禁じ得ません。本館跡に建設していた南棟が23年末に竣工し、最新の教室に更新されたことについても一抹の寂しさを感じます。同窓生の皆様も思い出が多く詰まった建物が一つずつ姿を変えていくことに複雑な思いを持たれるかも知れませんが、未来に向けて力強く邁進する筑高生を育む上で不可欠な変化だとご理解の上、応援していただければ幸いです。23年度はコロナ感染症の5類移行もあって、教育活動を止めることなく、翔丘祭も大運動会も制限のない外部公開ができました。行事における伝統の継承には厳しい局面もありましたが、生徒の目標達成に向けた高い向上心によってしっかりと乗り越えることができました。状況の変化が急激な時代にあって「世界に貢献できる人材の育成」を目指し、学校一丸となって精進してまいります。ご支援をお願いします。(副校長 富田順一 高35)